



# ポラン通信

vol.16



**新年明けましておめでとうございます。2026年1月**  
**今年もよろしくお願い申し上げます。**

更新頻度がかなり低くなってしまったポラン通信。AIのちからをつい借りたくなってしまいますが、ここはいわばインターネットとも異なる当院院長の好き勝手言える場所でもありますので、今後とも気長にお付き合いいただければと思います。好き勝手と言いながらも飼い主さんのためになるお話、とくに病院には一銭も得にならない話(笑)ばかりがメインとなります。今年もよろしく願いいたします！

もしペットを引き取る  
ことになったら



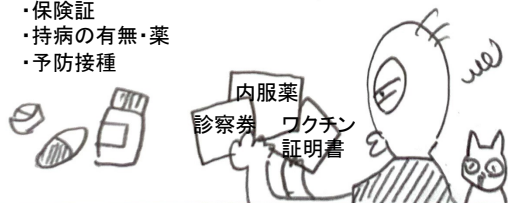
なるべく同じ生活を！

- ・同じフード
- ・散歩の習慣
- ・生活サイクル

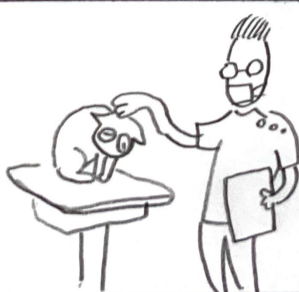


かかりつけ医や持病の有無も確認

- ・動物病院の診察券
- ・保険証
- ・持病の有無・薬
- ・予防接種



もちろん日頃から家族の  
ペットの様子も知っておこう



**年始で家族が集まったら相談しよう。**

毎年お伝えしていることですが、年末年始に親族が集まったら、ぜひ「ペット」のことも話題にしてください。近年、高齢者のみの世帯で、飼い主が急に入院した、亡くなったなどでペットが路頭に迷うケースが増えています。これは高齢者だけでなく、独居の方や自分に何かあってもペットを託せる方がいない方も重要です。**親族が集まったら、自分または親族になにかがあったときにペットをどうするか？確認しておきましょう。**

以下に盲点となりやすいところをお伝えします。

- ・ ペット好きな家族はすでにペットを飼っている。

例えば、猫好きな母親の3頭の猫を引き取ったが、すでに家に3頭の猫がいて合計6頭の多頭飼育に・・・

- ・ 子供にアレルギーがあり、親のペットを引き取ることができなくなった。

生活環境の変化により、後継予定の家族が飼育不可になることはよくあります。候補は複数で。

- ・ 里親探しを希望して愛護団体に引き取ってもらったが結局シェルターにずっといる。

子犬子猫でない限り、里親探しはそんな甘いものではありません。長期戦を覚悟しましょう。丸投げ厳禁です。

# SFTS、ついに東京で報告確認が？

## SFTS(重症熱性血小板減少症候群)ってどんな病気？



★原因ウイルス：SFTSウイルス(ブニヤウイルス科フレボウイルス属)による感染症。

★主な感染経路：SFTSを持つ**マダニに咬まれる**ことで感染します。

★もうひとつの大事な経路：発症した犬猫の血液や体液(よだれ嘔吐物など)の接触から人にうつった事例も報告されています。

日本では2013年以降、西日本を中心に毎年患者が報告されており、2013から2024年の全国データ解析でも、**高齢者を中心に増加傾向**が示されています。東京都内でも2025年に**SFTSとみられる犬の発生が都から公表されており**「西日本だけの病気」という状況ではなくなりつつあります。



## 実際の症状は？

	主な症状	重症化
ヒト	発熱・強い倦怠感・嘔気/嘔吐・下痢・頭痛	意識障害・出血傾向・多臓器不全(致死20-30%)
犬	多くは無症状 軽度。発熱/嘔吐/下痢/黄疸など	一部で重症化例
猫	<b>感受性が非常に高い。</b> 発熱・黄疸・嘔吐・急速に衰弱	<b>致死率が高い(60%程度の報告)</b>

## 治療法？ 予防対策は？

残念ながら人でも犬猫でも効果的な治療薬というのは2025年時点で確立されておらず、なにより「かからないこと」=予防が最重要とされています。

### ★犬猫の予防

- ・ノミマダニ予防薬(病院専用)を使用する。
- ・猫は完全室内飼育
- ・犬は散歩中草むらに突っ込ませない

### ★人の予防

- ・草むらでは長袖長ズボン、足首も覆うこと
- ・咬まれたら無理に取らず病院へ受診

### ★こんな時は早めに受診を(要電話)

- ・犬・猫：外へ出る子で**発熱/元気消失/黄疸/吐く**
- ・飼い主さん：マダニに咬まれた、動物に接触後、**発熱・強いだるさ**



### ★雑記★

2025年は院長がISVPS国際小動物歯科口腔外科認定医に合格しました。一般診療も行いますがこれまでよりいっそう歯科に力を入れてまいります。転院、紹介もいつでも受け付けておりますし歯磨きの仕方から、ご相談に乗ります。お気軽に受診ください。2025年は残念ながら保護猫の譲渡が0件でした。「かわいいような猫」を売りにには絶対にしません。この変哲もない、のんびり健康な大人猫のきぬ太、あぶ美、さんに君を、どうぞよろしくお願いいたします。